

令和6年11月18日

自由民主党本部 御中

一般社団法人 全国技能士会連合
会 長 大 関 東支夫

日ごろより、全国技能士会の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。私たち技能士は国民の日常生活やものづくりの現場、災害復興において、なくてはならない存在であり責任があることを強く認識し活動しております。

しかし現在、日本では技能士の不足、後継者不足が深刻な問題となっています。このままでは国民生活や日本のものづくり、災害復旧・国土強靱化等に大きな影響を及ぼしてきます。

技能士不足の原因の一つとして、若者の技能士離れが挙げられます。国を挙げて技能士の経済的地位や社会的地位を向上させて魅力ある職業にしていかなければなりません。これを支援する施策が急務です。

また、これまで長い間、「ものづくりの現場」が海外に移転してきたことで、民間企業における技能士の育成も激減しました。技能士の養成・確保、技能継承が全国各地の技能士会の重責ともなっています。

しかし、民主党政権時代の事業仕分けにより補助金約4千万円が全額カットされた影響は大きく、地方の技能士会の存続を危うくしています。会長の会社や自宅等を事務所代わりにするなどして対応しているところもあり負担も大きいことから役員になる人もいなくなってきました。

このような状況を踏まえ、以下の点について国の支援をお願いするものです。

要 望 書

1. 技能士の経済的地位と社会的地位の向上

技能士の賃金や待遇を改善し、厚生年金等福利厚生制度を創出・充実させるなど若者が技能士の道を安心して選びやすくするための施策を講じていただきたい。

2. 技能士育成のための予算確保

技能士の育成プログラムや研修の充実を図るため、匠の技を披露できるイベント開催、名工達の作品を展示できる常設館の設置、実技指導の会場確保等の予算を措置し、技能士育成、技能継承を支援していただきたい。

3. 地方技能士会への支援

地方の技能士会が存続し、地域社会に貢献できるよう、事務所借り上げ、事務職員採用等の補助金の復活と増額をお願いする。

4. 災害復興における技能士の役割強化

災害時における技能士の役割を認識し、災害復興に必要な技能士を確保する。自衛隊機能の一部(例:災害お助け隊の設置)に位置づけるなどして技能士確保と支援を強化していただきたい。

現役の技能士は約372万人います。日本の経済と社会の基盤を支える重要な存在です。これらの人達の活動と支援を通じて、技能士の地位向上と技能の継承を図り、国民生活の安定と経済の発展に寄与することが技能士会の責務です。国としても何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。